

データベースと 参考図書

1 参考図書・データベースとは何か

2 阪大で使える参考図書

- 2-1 参考図書の配架場所
- 2-2 辞書・事典
- 2-3 ハンドブック
- 2-4 書誌・目録・索引
- 2-5 年鑑・統計・白書

3 阪大で使えるデータベース

- 3-1 データベースのアクセス方法
- 3-2 利用上の注意事項
- 3-3 よく使われるデータベース
- 3-4 データベースに関する
主な変更（2026 年度）

4 パスファインダー

- 4-1 資料別調べ方ガイド
- 4-2 ラーニング・サポーターが
作成したパスファインダー



1 参考図書・データベースとは何か

ある主題（テーマ）について調べる際、あらかじめその主題に関する情報源をまとめた二次的な資料があれば便利です。こうした二次的な資料は、総称して「参考図書」や「レファレンスツール」と呼ばれており、辞書や事典はその代表的なものです。コンピューターが普及した今日では、コンピューター上で利用することができる種々のデータベースも、重要なレファレンスツールとなっています。

■長澤雅男『情報と文献の探索 第3版』（丸善、1994）【[阪大所蔵あり](#)】

・個々の作品や論文などの一次的な情報源と区別される二次的な資料としての「参考図書」の特徴を、内容、形式、形態の3側面から説明しています（p.6）。

- ① 内容面では、二次的な情報を収録していること。
- ② 形式面では、情報を編集意図に見合った単位に分割して同一形式で表現し、それぞれに項目見出しを立て、それらを一定の方針にしたがって配列していること。
- ③ 形態面では、冊子形態の資料であり、参照が容易であること。

■根本彰『知の図書館情報学』（丸善出版、2024）【[阪大所蔵あり](#)】

・長澤による「参考図書」の定義（上述）を踏まえて、レファレンスツールを「案内指示的なツール」と「事実解説的なツール」に分けて解説しています（pp.34-36）。

類型	概要	例
案内指示的なツール	著作、著作を構成する部分、著作の集合体に関する情報を提供するもの。	書誌、目録、索引
（中間的なツール）	語や数値などの記号、図や写真などの画像といったデータを直接指示しているもの。	統計、年鑑、図鑑
事実解説的なツール	言葉、概念、知識に関する学術的・体系的な分析と記述を配列したもの。	辞書、事典

2 阪大で使える参考図書

2-1 参考図書の配架場所

附属図書館4館における参考図書の主な配架場所は、以下の通りです。なお、参考図書は貸出しできませんので、図書館内でご利用ください。

図書館	参考図書の配架場所
総合図書館	A棟2階 参考図書
	書庫2階 参考図書、書誌・索引
	A棟5階 年鑑・統計
生命科学図書館	1階北側 参考図書
	2・3階 OPAC 端末横
	3階東側 電動書架

図書館	参考図書の配架場所	
理工学図書館	書庫 2 層	参考図書
外国学図書館	3 階	参考図書、年鑑・白書

2-2 辞書・事典

言葉や文字を配列し、その意味などを解説した書物を「辞書（辞典）」、ものや事柄を表す語を配列して解説を加えたものを「事典」と呼びます。辞書・事典を OPAC で調べる方法を概説します。

① 簡易検索で「〇〇（分野など） 事典」、「〇〇 辞書」と検索する。

・たとえば、心理学の事典を探す場合は、「心理学 事典」という検索式で検索します。

② 件名で検索する

・件名（正式名称は「件名標目」とは、資料の主題をあらわす統制語彙です。日本の図書館の目録では、日本図書館協会によって定められた「基本件名標目表」（BSH=Basic Subject Headings）に準拠した件名が用いられています。（このほか、国立国会図書館の件名標目〔NDLSH〕や、米国議会図書館の件名標目〔LCSH〕が併記されている OPAC もあります。）

権利の関係上、書影を隠しています

この情報を出力する

印刷

メール送信

ファイル出力

EndNote Online(RIS)出力

Mendeley出力

このページのURL

<https://opac.library.osaka-u.ac.jp/opac/> コピー

<図書>
学校心理學事典 / 日本学校心理学会編
 ガッコウ シンリガク ジテン

出版情報 東京：丸善出版，2025.6
 大きさ xx, 714p；挿図；22cm
 本文言語 日本語
 書誌ID 2004605993
 NCID BD12497182 Cinii

電子ブック・電子ジャーナル
 学校心理學事典(電子書籍版) / 一般社団法人日本学校心理学会(編)

所蔵情報を非表示

配架場所	巻次	請求記号	資料番号	状態	利用注記	予約/取寄	複写取寄	公費eDDS	隣の本
総合図-A棟2層 参考図書		371.4 NIH	10302632509						

書誌詳細を非表示

一般注記 表現種別: テキスト (ncrcontent), 機器種別: 機器不利用 (ncrmedia)
 引用・参考文献: p [649]-693

件名

BSH:教育心理学

BSH:教育心理学 -- 便覧 この組合せで検索

NDLSH:学校心理学 -- 便覧 この組合せで検索

分類

NDC9:371.4
 NDLC:F2
 NDLC:FA31

同じ件名標目の資料を検索
することが出来ます。

2-3 ハンドブック

ハンドブックは、その分野について知るうえで必要な情報がまとめられた手引書です。その分野を理解する上で重要な論文をまとめた論文集（アンソロジー）を指すこともあります。

OPAC でハンドブックを探す際は、探したい分野のキーワードとともに、「ハンドブック」、「便覧」、「講座」、「handbook」、「companion」、「reader」などの語を加えて検索してください。

2-4 書誌・目録・索引

資料を特定・識別するための情報（タイトル、著者、出版年、出版者など）を書誌情報と呼びます。一定の範囲の文献（たとえば、2025年に出版された社会科学分野の文献）の書誌情報をまとめた参考図書を「書誌」と呼び、書誌情報に加えて所在情報も記載したものを「目録」と呼びます。また、各主題で参考になる文献の書誌情報が掲載されている資料に特化した書誌を、「書誌の書誌」と呼びます（代表的な「書誌の書誌」に、『書誌年鑑』（日外アソシエーツ）【[阪大所蔵あり](#)】があります）。

「索引」は、本文中のおもな事項を抽出して配列し、本文中の掲載ページを指示するものです。書誌・目録では書誌情報を手がかりとしますが、索引では本文中の事項名を手がかりとして資料を探すことができます。

OPACで書誌・目録・索引を探す際は、①「〇〇（分野など） 索引」や「〇〇 目録」といった検索式で検索するか、②「書誌」、「書目」、「目録」などの件名で検索することができます。

2-5 年鑑・統計・白書

ある事柄について、一年間のできごと、動向、統計などをまとめたものを「年鑑」と呼びます。このうち、政府が行政活動の現状や課題、方向性などを国民に知らせるために発行するものを「白書」と呼びます。また、政府統計など、定期的・長期的に調査が行われる統計については、その概要や結果が冊子としてまとめられる場合があります。

*白書の調べ方については、国立国会図書館リサーチ・ナビ「[官庁の白書・年報](#)」、統計の調べ方については、国立国会図書館リサーチ・ナビ「[統計](#)」に詳しくまとめられていますので、ご参照ください。

3 阪大で使えるデータベース

3-1 データベースのアクセス方法

大阪大学で契約しているデータベースにアクセスする方法は、キャンパス内とキャンパス外で異なります。キャンパス外からのアクセスには認証が必要であるほか、キャンパス外からは利用できないデータベースもありますのでご注意ください。

3-1-1 キャンパス内からアクセスする場合

キャンパス内でデータベースを利用する場合は、お使いの端末を大阪大学のネットワーク（有線 LAN や odins-lx）に接続させたうえで、以下の手順でアクセスしてください。

- ① 附属図書館 Web サイトのトップページで「データベース」を選択する
- ② 「すべてのタイトルを表示」をクリックし、データベース一覧（アルファベット順）を表示する
- ③ 利用したいデータベースを選択する

※「CAS SciFinder Discovery Platform for Academics」、「PsycINFO」、「SciVal」の利用にあたっては、事前に登録・設定が必要です（附属図書館 Web サイト「[データベース設定方法](#)」のページを参照）。

3-1-2 キャンパス外からアクセスする場合

キャンパス外（自宅等）でデータベースを利用する場合は、大阪大学個人 ID による認証が必要です。以下の手順で認証してください。（一部のデータベースはキャンパス外からは利用できません。）

- ① 附属図書館 Web サイトのトップページで「キャンパス外から電子リソースを使う」を選択する



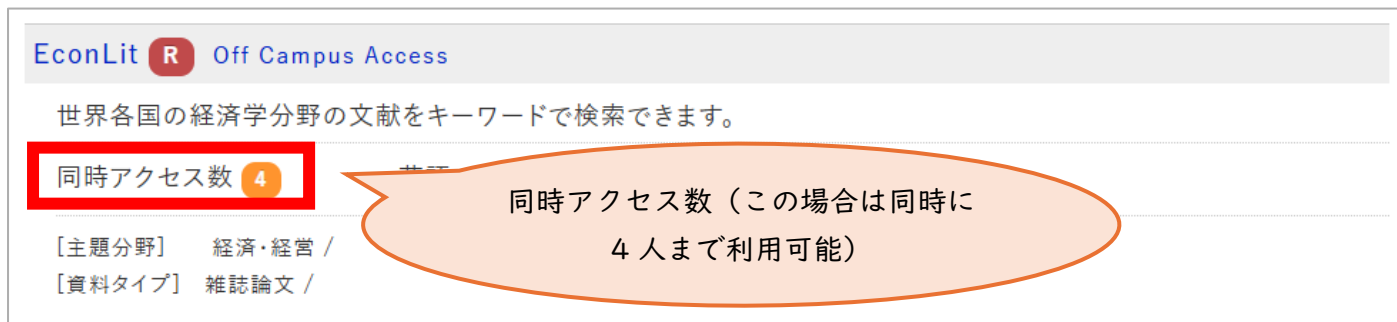
- ② キャンパス外から利用できるデータベースの一覧が表示されるので、利用したいデータベースを選択する
- ③ 認証が要求されるので、大阪大学個人 ID による認証を行う

3-2 利用上の注意事項

データベースを利用する際は、①利用終了後は必ずログアウトすること、②論文フルテキストは適正に利用することに留意してください。

3-2-1 利用終了後は必ずログアウトする

一部のデータベースには、同時に利用できる人数に上限が設けられています。この上限は、「同時アクセス数」として対象のデータベースに表示されています。同時アクセス数の設定がされているデータベースは、利用が終了すれば速やかにログアウトし、アクセス数の枠を開けていただきますようお願いします。



3-2-2 論文フルテキストは適正に利用する

一部の論文データベースでは、論文のフルテキスト（全文）をダウンロードすることができます。以下の事項を遵守して、これらのデータベースを活用してください。

① 大量ダウンロードの禁止

・自動ダウンロードソフトウェア等を使用して、個人利用の範囲を超えた大量のファイルを短時間でダウンロードする行為は禁止されています。大量ダウンロードが検知された場合、大学全体でデータベースの利用ができなくなる場合がありますので、必要なものに限ってダウンロードするようにしてください。

② フルテキストデータの複製・再配布の禁止

・フルテキストデータを複製し、他人（友人等）に再配布することは禁止されています。

③ フルテキストデータの目的外利用の禁止

・フルテキストデータは、個人利用の目的（個人がオフライン環境でその論文を読むという目的）でのみダウンロードして利用することができます。ダウンロードしたフルテキストデータをインターネット上に置くなどして、一般に利用可能な状態にすることは禁止されています。



3-3 よく使われるデータベース

大阪大学で使うことができるデータベースのうち、利用頻度が高いものを紹介します。ここで紹介するデータベースは、附属図書館 Web サイトのトップページに表示される検索窓上部の「データベース」タブからアクセスすることができます。



3-3-1 分野横断的なデータベース

■CiNii Research（国立情報学研究所、<https://cir.nii.ac.jp/>）【キャンパス外からもアクセス可能】

- ・国内の学術情報を統合的に検索することができます。
- ・学内ネットワークからアクセスすると、インターネット上で全文（フルテキスト）を読むことができない論文に大阪大学で利用可能なフルテキストオプションへのリンクが表示されるようになります。（キャンパス外からも、「3-1-2」に記載の方法でこのリンクを表示させることができます。）



※キャンパス外からは、「3-1-2」で説明した方法で認証することによって、上記「Full Text Finder」をCiNii Research上で利用できるようになります。

■Scopus（Elsevier 社）【キャンパス外からもアクセス可能】

- ・世界各国の自然科学・社会科学分野の文献を検索することができるデータベースです。本文（フルテキスト）は収録されていませんが、引用文献・被引用文献を検索することができるのが特長です。
- ・フルテキストを入手したい場合は、書誌ページに表示される「Full text」タブから、大阪大学の「Full Text Finder」へのリンクをクリックしてください。

■Web of Science (Clarivate 社)【キャンパス外からもアクセス可能】

- ・世界中の主要文献の書誌情報・引用情報を検索することができます。本文（フルテキスト）は収録されていませんが、引用文献・被引用文献を検索することができるのが特長です。
- ・フルテキストを入手したい場合は、書誌ページの先頭に表示されるフルテキスト・オプションへのリンクをクリックしてください。

・2026 年度より、生成 AI による調査研究支援ツール「Research Assistant」が利用できるようになりました。詳しくは、附属図書館 Web サイトの[お知らせ](#)（2026 年 4 月 8 日掲載）および Clarivate 社 Web サイトに掲載されている[利用ガイド](#)をご参照ください。

■ProQuest (ProQuest 社)【キャンパス外からもアクセス可能】

- ・複数のサブデータベース群からなる包括的な学術文献データベースです。学術誌掲載論文のほか、学位論文、新聞、電子ブックなどが収録されています。
- ・以下のサブデータベースは、附属図書館 Web サイトのデータベース一覧に立項されています。サブデータベースのみを利用したい場合にご活用ください。

サブデータベース名称	分野
ERIC	教育学
Health & Medical Collection Information	生命科学、医学
International Bibliography of Art Information	芸術学
MEDLINE	医学
New York Times	新聞
ProQuest Central Premium	全分野
ProQuest Dissertations & Theses A&I	学位論文
ProQuest Historical Newspapers: Chinese Newspapers Collection	新聞
PTSDpubs	医学、心理学

3-3-2 新聞データベース

大阪大学では、以下の国内紙の新聞データベースを利用することができます。

データベース名称	収録紙	収録範囲の概要
朝日新聞クロスサーチ	朝日新聞	創刊（1879 年）～現在
ヨミダス	読売新聞	創刊（1874 年）～現在
	The Japan News	1989 年～現在
マイサク	毎日新聞	創刊（1872 年）～現在
日経テレコン	日本経済新聞	1975 年～現在
The Japan Times Archives	Japan Times	1865 年～1866 年、1897 年～1926 年
	ジャパンアドバタイザー	1913 年～1926 年

新聞データベースの詳細については、「資料別調べ方ガイド③ 新聞資料の探し方」や、附属図書館 Web サイトの「[新聞を探す](#)」のページを参照してください。

3-3-3 辞書・事典データベース

■JapanKnowledge Lib（ネットアドバンス社）【キャンパス外からもアクセス可能】

- ・80種類以上の辞書・事典、雑誌、叢書を検索することができるデータベースです。電子ブックを閲覧することができる「JKBooks」も一部タイトルを利用することができます。
- ・利用することができる主なタイトルは、以下の通りです。

種別	タイトル
百科事典	『日本大百科全書』、『Encyclopedia of Japan』
国語辞典	『デジタル大辞泉』、『日本国語大辞典』、『大漢和辞典』、『日本方言大辞典』など
英語辞典	『ランダムハウス英和辞典』、『Oxford Advanced Learner's Dictionary』など
外国語	『独和大辞典』、『ロベール仏和大辞典』、『ポケットプログレッシブ日中辞典』など
歴史	『国史大辞典』、『日本歴史地名大系』、『日本史年表』、『古事類苑』など
人名	『日本人名大辞典』、『世界人名大辞典』、『日本人物文献目録』など
人文系事典	『日本近代文学大事典』、『現代心理学辞典』、『新カトリック大事典』など
法律	『法律用語辞典』、『判例六法 Professional』
理科系事典	『岩波数学辞典』、『デジタル化学辞典』、『旺文社生物学辞典』、『地学用語集』など
年鑑	『世界年鑑ダイジェスト』、『日本統計年鑑』、『日本長期統計総覧』、『日本国勢図会』など
文学	『東洋文庫』、『日本古典文学全集』、『明治文学全集』、『文庫クセジュ』など
情報誌	『週刊エコノミスト』、『現代用語の基礎知識』、『日経キーワード』、『会社四季報』
JKBooks	『太陽』、『文芸倶楽部』、『風俗画報』、『群書類従』、『文藝春秋アーカイブズ』など

■KOD（Kenkyusha Online Dictionary）（研究社）【キャンパス外からもアクセス可能】

- ・英和辞典および和英辞典のデータベースです。英和辞典8種、和英辞典7種、用例事典4種を利用することができます。

■OED（Oxford English Dictionary）（Oxford University Press）【キャンパス外からもアクセス可能】

- ・11世紀半ばから現在までの英語の発生・変遷をたどることができる英語辞書です。
- ・各単語のページには「Etymology（語源）」、「Meaning & use（語義と用例）」、「Pronunciation（発音）」、「Forms（綴り）」、「Frequency（使用頻度）」、「List of compounds & derived words（複合語と派生語）」のタブがあり、その単語の歴史について深く知ることができます。

3-4 データベースに関する主な変更(2026年6月現在)

■ACM Digital Library：▼【機能縮小】

- ・ACM（Association for Computing Machinery）の刊行物がオープンアクセス化されたため、2025年12月末をもって有償版の契約を終了しました。このため、機能が以下の通り縮小しました。
- ① ACM以外の版元の刊行物がすべて利用できなくなりました。
- ② 単純検索のみ可能となり、その他の検索支援機能が利用できなくなりました。

■ASME Digital Collection：×【提供終了】

- ・2025年末をもって提供を終了しました。

■DI-Law.com：×【提供終了】

・2025年3月31日をもって提供を終了しました。

■Oxford Dictionary of National Biography：×【提供終了】

・2025年12月31日をもって提供を終了しました。

■ProQuest Central Premium：◎【アップグレード】【阪大契約あり】

・人文社会科学から自然科学・医学分野にいたる175分野をカバーする総合学術データベースです。これまで契約していたProQuest Centralの後継として、アップグレードされた製品の提供を開始しました。
・学術誌のほか、電子ブック、新聞、市場情報、学位論文等を収録しています。

■U.S. Declassified Documents Online：×【提供終了】

・2026年5月31日をもって提供を終了しました。

4 パスファインダー

パスファインダー（path finder）は、ある主題について調べる上で手がかりになる情報源や、その探し方・使い方を簡潔にまとめた冊子（簡易的な参考図書）です。パスファインダーは多くの図書館で作成されており、大阪大学附属図書館でも下記2種類のパスファインダーを作成しています。

4-1 資料別調べ方ガイド

総合図書館では、種類別に資料の調べ方・探し方を概説した「資料別調べ方ガイド」を作成しています。調べ方ガイドは、このガイドを含めて全部で9種類あり、毎年最新の内容に更新されています。

●印刷版の配布場所 総合図書館B棟2階 参考調査カウンター横（ラーニング・コモンズ横）

●各ガイドの内容

①参考図書とデータベース	①文献検索と先行研究調査	②学位論文の探し方
③新聞資料の探し方	④翻訳資料の探し方	⑤書評（ブックレビュー）の探し方
⑥漢籍（中国古典籍）の探し方	⑦法令・判例の探し方	⑧引用の方法・参考文献の書き方

4-2 ラーニング・サポーターが作成したパスファインダー

附属図書館では、生命科学図書館を除く3館（総合図書館、理工学図書館、外国学図書館）でラーニング・サポートデスクを設置しており、大学院生（TA）がラーニング・サポーター（LS）として勤務しています。LSは、学習・研究に関する相談に随時応じるほか、各自の専門性をいかして、講習会・セミナーの開催、図書の展示・選書、パスファインダーの作成などを行っています。

●ラーニング・サポートデスクの場所

総合図書館：B棟2階 ラーニング・コモンズ

理工学図書館：東館1階 Sky Innovation Studio

外国学図書館：3階 ラーニング・コモンズ「るくす」

●2025 年度の LS 作成パスファインダー

タイトル	図書館	作成者所属（当時）
外国語学習のやる気を高める！ 外国語学習本	外国学	人文学研究科
東南アジア研究	外国学	人文学研究科
二元論を批判的にみるヒント	外国学	人文学研究科
卒業論文にとりかかる（改訂版）	外国学	人文学研究科
スペイン語の学習方法（改訂版）	外国学	人文学研究科
構造生物学	総合	基礎工学研究科
経済史	総合	経済学研究科
刑法	総合	法学研究科
Python による機械学習	総合	基礎工学研究科
アメリカ言語学史	総合	人間科学研究科
電磁気学	理工学	工学研究科
材料プロセス工学	理工学	工学研究科
量子力学	理工学	工学研究科
画像処理	総合	基礎工学研究科
結晶物理学	理工学	工学研究科
心理物理学	総合	基礎工学研究科
言語計画	総合	人間科学研究科
文系のための Python	総合	経済学研究科
言語接触	総合	人間科学研究科
微分積分（改訂版）	総合	基礎工学研究科・理学研究科
Google フォームを利用したアンケートの作り方	総合	基礎工学研究科
線形代数	総合	理学研究科
素粒子論的宇宙論	総合	理学研究科

※過去の LS 作成パスファインダーは、附属図書館 Web サイトの「[パスファインダー](#)」のページにすべて掲載されています。

250

LS(ラーニング・サポーター)が作成した
パスファインダーは
 件以上！

パスファインダー(PDF版)の
 検索・ダウンロードはこちら！

テーマ別調べかガイド
Paste びんす
 総合図書館(豊中)

102

件

理科パス
 理工学図書館(吹田)

68

件

テーマ別パスファインダー
るくばす
 外国学図書館(箕面)

87

件

大阪大学総合図書館 2026.7.28作成